



Topix

- ★ ボウリング大会
- ★ オクレンジャー
- ★ 企画：支部長にきいてみよう！

『少女』

昭和52年
第5回長野市野外彫刻賞

佐藤 忠良／作
真田公園

令和3年4月撮影

文化勲章受章の大彫刻家朝倉文夫とは親戚付き合いをしていた作者が、朝倉家で、文夫の孫娘が廊下でスキップしながら毬をついていた一瞬のあどけない姿をとらえた作品です。動きのある可愛らしい作品です。子どもたちが来て、一緒に遊んでいるようです。

【長野市ホームページより抜粋】

◆ 野外彫刻のお問い合わせ ◆

長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL 026-224-7504

内 容

- ・ながの支部ボウリング大会開催しました 🖐
- ・ZOOMを活用したオクレンジャーの登録と連絡訓練 🖐
- ・新任のごあいさつ 🖐
- ・土倉支部長にきいてみよう！ 🖐
- ・特別賛助委員会だより 🖐
- ・特別寄稿 街道シリーズ 🖐
- ・須古宇 🖐
- ・支部日誌、会員の動き 🖐
- ・事務局だより 🖐
- ・編集後記 🖐



なごの支部 今後の予定 5月～6月上旬

月日(曜日)	行 事 名	場 所
5月12日(水)	三役会	Web会議 (Zoom)
5月26日(木)	第3回ながの支部協議会	ホテル信濃路 (午後3時より)
6月4日(金)	ながの支部ゴルフ大会	斑尾高原カントリー倶楽部

ながの支部ボウリング大会開催しました！

南部ブロック長 原 山 泰



3月5日、一年振りに「ながの支部ボウリング大会」を開催できました。参加者の皆様ありがとうございました。

コロナ禍ですので恐々での開催でしたが、ボウリング場は広い空間でレーンにも余裕があり、密になることなく久しぶりに清々しい時間を過ごせました。

例年ですとプレイ後、表彰式



を兼ねて食事会となるのですが今回は表彰式のみ。参加賞を兼ねて豪華寿司会席の御弁当をお配りし、家で楽しんでいただきました。

さて、私がこの記事を書いているという事は、お気づきの方もあると思いますが、主催者にして優勝者という事ですね。コロナ禍でも欠かさず、Pリーグ（BSフジ）を見てイメージトレーニングを積んだ甲斐がありました。ありがとうございます。

この調子で、同じくイメージトレーニングをしているゴルフも好成績を収められればと思います。ながの支部ゴルフ大会は6月開催です。乞うご期待。

順番	選 手 名	総得点	1 G	2 G	スコア計	HD C P
1	原 山 泰	310	155	155	310	0
2	土 倉 武 幸	289	156	133	289	0
3	永 井 寛 治	259	141	118	259	0

委員会活動報告

ZOOMを活用したオクレンジャーの登録と連絡訓練

防災委員長 勝 山 敏 雄

東日本大震災、長野県北部地震（栄村）発生から10年になります。

建築士会ながの支部では地震時の応急危険度判定士への連絡にオクレンジャーを使用し、判定士への情報発信・情報収集を行っています。オクレンジャーに未登録の方を対象に、3月12日にZOOMを活用し、登録の説明、長野市との協定の内容とオクレンジャーの情報発信の内容の確認を行ったあと、実際にオクレンジャーでの連絡網の訓練を行いました。参加者は少数でしたが、多くの方に登録をしていただき、現在、判定士119名中74名が登録済みで連絡が届くようになりました。引き続き未登録の方に登録要請を行い、連絡網の体制を整えていきたいと思っています。

ながの支部は、長野市を初め、飯綱町、信濃町、須坂市、高山村、小川村等と避難所の応急危険度判定を行う協定を結んでおります。震度5弱以上の地震で応急危険度判定の準備態勢に入ることとされており、安否確認に続き、待機指示の連絡を送ります。避難所の判定は原則として、発災後24時間以内とされています。避難所の応急危険度判定を済ませ、安全が確認できた段階で避難所を開設できることになっています。被災された方が一時的に避難生活を送る避難所ですので、安全性が確認できなければ開設できませんし、一刻も早く開設することが求められています。そのためには、応急危険度判定士の協力が必須となっています。

まだ、オクレンジャーに登録をされたいない方は、まずは、登録をお願いします。





新任のごあいさつ

長野市建設部建築指導課長 前田 伸一

このたび建築指導課長として就任いたしました前田伸一と申します。

長野県建築士会ながの支部の皆様には、日頃から本市の建築行政に対し、ご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

また、一昨年の台風災害で被災された方々の住宅再建への支援等におきましても、被災者の皆様に寄り添った対応にご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、本市では、既存建築ストックの防災対策や有効活用などの喫緊の課題に対し、今年度、「住宅・建築物の耐震化対策」「危険ブロック塀対策」及び「空き家対策」などを、重点的に推進してまいります。

「住宅・建築物の耐震化」につきましては、「長野市耐震改修促進計画」の計画期間を令和7年度まで延長し、促進策として、住宅耐震改修事業補助金の補助率を5分の4に引き上げ、更なる耐震化に取り組んでまいります。

「危険ブロック塀対策」は、国の交付金を活用した除却事業補助金のほか、所有者への更なる啓発と新たな現地調査などにより、危険なブロック塀の解消に向け対策を進めてまいります。

「空き家対策」では、会員の皆様方にご協力をいただいた調査によって明らかになった市内の特定空家等について、今後も所有者に対し助言を行うほか、ワンストップ相談会の開催や空き家バンクの運営などの取り組みを総合的に進めてまいります。

これらの事業には貴支部との連携が不可欠であると考えており、今後とも、安心して安全なまちづくりを目指してまいりますので、貴会員の皆様には、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



土倉支部長にきいてみよう！

公益社団法人として歩み始めて3年の月日が経ちました。そして、皆様のご承知のとおり新型コロナウイルスが流行で私たちの生活は一変、建築士会の活動機会も制限され、残念なことに建築士会の活動がないことが日常になりつつあります。ながの支部では、5月26日にホテル信濃路にて開催される通常協議会を無事に成功させ、弾みをつけたいところでもあります。とは言え、このような時節柄で参加を見合わせたい会員の皆さまも数多くいらっしゃると思います。つつおとではそのような皆さまにまずは身近な議題として、私が納めている会費の使われ方をわかりやすい資料で掲載（7頁目）させてもらいました。これは4月の支部定例幹事会の中で土倉支部長から説明があった内容をつちおと編集部会で抜粋したものです。

皆さまから意見をいただく前に幹事の皆さまから質問・意見・提案等を募り、土倉支部長にお答えいただいた内容を掲載いたします。コロナ禍だからこそ前向きに、もう一度建築士会のあり方を一緒に考えてはみませんか？

Q1

支部会員数が多かった長野支部としては法人化に伴いリスクもあったように思いますが、公益法人化三年目を迎え、そのリスクはどのように変化したと感じていますか？

A1

公益法人化についてはリスク云々の前に、その必然性がありました。国の公益法人制度改革の流れの中で、長野県建築士会は旧制度上の公益法人（社団法人）から一旦新制度における一般社団法人となりました。新制度において「一般社団法人」は、許認可不要で非常に作りやすい法人となってしまうため、伝統ある長野県建築士会としてそれらの法人と同格であることが許容できないと感じる方が多かったことから、公益社団法人を選択したものと理解しております。組織運営上、「一般社団法人」のままか「公益社団法人」になるかの選択によって生じるリスクは特段無かったと考えています。

Q2

支部長自身が感じる“会員における”公益法人化のメリットとデメリットを教えてください。

A2

会員にとって特にメリットと呼べるものは無いと思っています。会として財源の確保を考えた時、公益法人の方が事業を受託するような場合にその公益性から特命で事業を受託したり、あるいは寄付を受ける場合の寄付者には税務上のメリットがあります。対してデメリットは、公益法人を維持するために、公益事業の比率を50%以上に保たなくてはならないため、証紙販売事業等の収益事業を管轄する一般財団法人建築士活動センターを設立して事業を委託しており、組織が複雑化しているというデメリットはあると思います。

Q3

会費（24,000円）のうち、自分たちが自由に利用できる金額が1,450円と聞きました。会員数が増えたとしても、実質的な予算が上がりにくい以上、特別賛助会員さんを増やしたり、支部ホームページに協賛を募るなど、支部独自の財源確保をするに際していかがお考えでしょうか？

A3

支部独自財源の確保は積極的に展開するべきと思っています。建築士会の最大の資源は建築士の資格者たる会員そのものです。収益事業にするためには許認可等のハードルはありますが、資格者を紹介あるいは業務の斡旋等、資格の有効活用ができるようになれば、会に所属するメリットも出るのでは無いでしょうか。

また、講習会等もオンラインを活用して支部の垣根を超えて受講者を集められるようなコンテンツを有料で提供（当然会員は優遇）していくことも、財源確保と会員メリットの最大化の両面で有効と考えています。



Q4 本会のホームページにおいても会員専用ページが設営され、情報の電子化が推進されつつあります。それに準ずるように今後、ながの支部でも支出の多い「つちおと」の電子化への移行が余儀なくされるように思われます。そういった情報の電子化に伴うメリットとデメリットに対してどのようにお考えでしょうか。またデメリットの解決策もありましたら教えてください。

A4 情報のオンライン化の流れは止めようもありませんし、世の中にこれほど情報が溢れている中で、紙等の固体メディアは検索性に乏しいため、後から生かすことが困難です。極論ですが、紙は全て廃止し、郵送という行為を無くせばその費用を事業に回すことができるとも考えています。メリットデメリットではなく、慣れることが必要だと思います。

Q5 資料（P7）の中に、活動推進費という項目で一人当たり500円（ながの支部としては合計205,500円）の本会への支出がありますが、ながの支部は近年どのような行事を行い、またどのくらい有効活用できていますでしょうか？

A5 レクリエーション以外の研修会等の事業は極力活動推進費の申請をするように、事業企画をしている委員長さんに呼びかけ申請をしています。ながの支部の会員数に相応の活動推進費は例年採択していただいております。

◇ 過去の活動推進費対象事業

年度	事業内容	申請金額	事業経費実行額：A = B + C		実行額における活動推進費対象額の割合（B/A）
			活動推進費対象額（活動推進費で負担してもらった額）：B	決算額（実際に支部が負担した額）：C	
平成29年度	旧小田切家住宅上店利活用における活気あるまちづくり（旧須高支部）	35,000	35,000	0	100.0%
	長野県産材を使ったZEHを考えるセミナー（旧長野支部）	35,711	15,000	27,509	35.3%
	古い町家をリノベし、古き良き生活を再現しているゲストハウス見学会（旧長野支部）	15,000	10,000	0	100.0%
	空き家対策問題事例研究 富山県高岡市訪問（旧長野支部）	920,000	100,000	66,335	60.1%
令和元年度	11月つきいちアーキ・セミナー「フォトモ」	64,107	28,000	35,167	44.3%
	ながのまちなかエリアリノベーション	318,400	81,000	16,002	83.5%
	峰の原高原 未来地図応援事業	200,000	65,000	50,246	56.4%
令和2年度	ながのまちなかエリアリノベーション	200,000	22,000	0	100.0%
	つきいちアーキ・セミナー「UDC信州」	37,310	9,500	6,110	60.9%
合 計		1,825,528	365,500	201,369	64.5%

※平成30年度は活動推進費を利用した事業申請をしていません。（統合準備のため）

Q6 資料（P7）を元に正会員一人当たりの会費（24,000円）に対する支出割合を計算してみました。（高齢会員も正会員とみなし、年度によって変動する支出を含まないとして試算しました。）

会費のみで活動をするのであれば、2700円/人での費用で計画を建てる必要があると思います。一見、人件費を抑えることが課題のように思われがちですが、この費用を抑えることは会員が無報酬で事務局の代行をしなければなり、とても難しいことと考えます。したがって、今の状況の中でどのようにしていくべきか考えた際に、費用がかかる事業については、必ず活動推進費の手続きをすることを原則としたらどうでしょうか。採択されると約半分の費用を捻出できます。2018年に金沢へまちづくり研修旅行に行った時も活動推進費を活用しました。結果、個人負担を抑えることができ有意義な研修ができたと思います。

本 会 会 費	3,600 円	15.00%
連 合 会 会 費	3,480 円	14.50%
C P D 登 録 費	1,000 円	4.17%
事 務 局 管 理 費	2,500 円	10.42%
活 動 推 進 費 分	500 円	2.08%
人 件 費	10,251 円	42.71%
計	21,331 円	88.88%
支 部 活 動 費 残 金 (24,000 円 - 計)	2,669 円	11.12%



A6

活動推進費の活用はすぐ取り組める活動として有効です。今までも申請を働きかけていましたが、申請必須とすることによってより確実な事業費確保が可能となりますので、ぜひ推進したいですね。一方で人件費を抑えることも聖域としてはいけないと思っております。支部単独でできることは正直無いのですが、A4のように郵送作業を無くすことができれば、事務局機能のほとんどをリモートで対応することが可能となるため、支部事務局の掛け持ちができます。会員や役員の負担を増やさず、人件費の適正化ができる方法として本会に提案してみたいと思います。

Q7

支部の垣根を越えて活動推進費を利用した活動を計画した場合、予算面での利点はありますか？

A7

ブロック単位（東信・南信・中信・北信ブロック【北信ブロック：更級・中高・飯水・ながの支部】）での活動等は本会も推奨しているところで、活動推進費を別枠で確保してあります。（新年度もその形が継続されるかは不明ですが）

Q8

委託事業を積極的に受けることや、補助金の活用を考えていくようにしたらどうでしょうか。ながの支部では3年間長野市の空き家調査の委託を受けました。委託金額のうち一部を支部経費として計上し、調査をしていただいた方には報酬を支払い（多くの方に会費の数倍以上の報酬を支払いました）、残金を支部の活動費に充填しています。また、本会主導ではありましたが、補助金を活用して、台風19号の被災者に対しての相談業務等も会としての活動を通じて、相談会に参加していただいた方にも報酬をお支払いしています。このような事業は事務局の負担が増えますが、会としての活動や参加者への費用の捻出ができ、かつ、会の活動費も増えることにつながります。

A8

委託事業は会員に報酬を支払い、業務を行っていただくことにより、会員、支部双方にメリットがあります。常に案件があるか不確定であるのが難点ですが、機会があれば積極的に受託していきたいですね。

Q9

公益法人化に伴い、公益性のある事業を目的とする団体であることが求められているように思います。ながの支部では委託事業や西鶴賀のエリアリノベーションなどの社会好影響を与える事業を行っています。また従来からの親睦事業（ボウリング大会・ゴルフ大会・ヨットカヌーなど）も行われていますが、支部長の今後のビジョンとしてこのような活動を軸に舵取りをされていくつもりなのか教えてください。

A9

公益性のある事業と組織内での親睦事業は両方とも大切です。但し、貴重な事業費を飲食等の補助に充当することは、今後極力減らしていくべきと考えています。会員の皆さんから集めた会費を、情報やスキル等、仕事に役立つ形にして公平にお返しするのを基本として、社会貢献事業もただのボランティア活動ではなく、ノウハウを身につける機会として活用していきたいと思っています。



パリパリの最中に皮に自家製の栗あんをたっぷりつけてお召し上がりください。



kumasan monaka

信州おぶせくま

くまさんモナカ

小布施 創業元治元年

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施414 TEL 026-247-2145

熊出没注意

建築専用3次元CAD/BIMシステムの販売・サポート。
建築設計・施工・維持管理における新たな仕組み“BIM”を
それぞれのお客様に合った最適な形で提案致します。



OA機器・測量製図機器・コンピュータ機器

株式会社 **イトー**

<http://www.itoh.co.jp/>

最新の情報と技術をお客様とともに創造し、最適なソリューションをご提案致します。

〒381-0024 長野県長野市南長池498-1
TEL:026-221-4101 FAX:026-221-5313



区 分		事業細項目	集計上の科目	決算見込み額	説明・コメント
主 な 収 入	会員収入	正会員分	正会員会費収入 @20,520円	7,737,160	会員数：383名
		高齢会員分	高齢会員会費収 @10,260円	287,280	会員数：28名
		連合会会費相当	連合会会費収入 正会員 @3,480円 高齢会員 @1,740円	1,381,560	連合会は一律（3,480円）で徴収している。
	計			9,406,000	①
主 な 支 出	本会会費	本会会費	正会員 @3,600円	1,429,200	3,600円×383名+1,800円×28名
			高齢会員 @1,800円		
		連合会会費	一律 @3,480円	1,430,280	
		C P D登録費	一律 @1,000円	411,000	
		事務局管理費	一律 @2,500円	1,027,500	電話料金・インターネット料金・消耗品・庁舎管理経費・庁舎コピー機使用料、用紙使用料等（ながの支部で実際に使用している額は約30万円弱）
		活動推進費分	一律 @ 500円	205,500	
		人件費配分額 ②		4,213,000	（本会と各支部の人件費総額を県内会員数で除した金額）×ながの支部会員数
		未納会員費処理額		72,000	法人化に伴い未納会員者の会費を肩代わりしている
	公益会計	建築士フォーラム登録費（隔年開催）		19,000	ながの支部負担額（本会からの提示・変動制）
		青年女性建築士の集い登録費（毎年開催）		30,000	〃
計				8,837,480	③

- ・会費収入のうち 支部として使える金額…④ ￥568,520 ①－③
- ・会費収入のうち 支部として使える金額の割合 6.04% ④÷①
- ・会費収入のうち 本会へ納める金額の割合 93.96% ③÷①
- ・会員ひとり当たりが負担する事務局人件費 ￥10,251 ②÷（383名+28名）
- ・ex）つちおと発行にかかる費用（年間） ￥664,640 ④よりも費用が高いため、賛助会員会費収入（71万円）がなければ発行できない現状

主な収入・支出からながの支部の使える金額を算定しました。年会費のうち、実際に自分たちが1年間に使える金額は1,450円。更に上の表は、賛助会員さんからいただいている会費はながの支部内で自由に使えることも意味しています。悲しいことに、ながの支部で新規会員を10名増やしたとしても、支部として自由に使える年間の金額は約14,500円アップに留まります。前述は大々的に全県で会員数が増えれば別ですが、そのためには魅力ある活動内容があって初めて成せることではないでしょうか。建築士会の発展もありますが、まずはながの支部の有効性を模索すべく、このような資料を添付しました。5月に行われる協議会で活発な議論がなされ、限られた予算の中でもながの支部の今後の方向性を明確にできるように、つちおとではこれからも継続して土倉支部長への質問をはじめ建設的なご意見やご提案をお待ちしております。

皆さまの貴重なご意見等は、事務局までお送りください。

《 ながの支部事務局 》 E-mail : jimukyoku@kenchikushikai.info FAX : 026-225-9981



トイレブース

RブースTR40電動タイプ

非接触型



触らないから安心

新型コロナウイルス
感染症拡大を背景に、
不特定多数の人が触れる共用部は、
感染予防対策の重要性が
求められます。三和シャッターの
「RブースTR40電動タイプ」は
ハンドルやドアに触ることなく
開閉や施錠ができる、安心感を
融合したトイレブースです。

※
業界初!

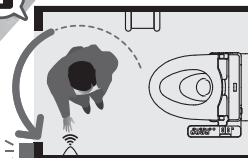
※2021年1月現在
当社調べ

非接触による 自動開閉で感染予防

ブース内に設置されているセンサーに手をかざすことで、
ハンドルやドアに触れることなく自動でドアが開閉し、
施解錠されます。



自動ロック



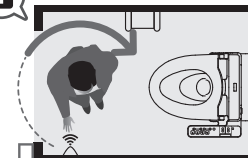
センサー

入室時

センサーに手をかざすと
ドアは閉まり、
自動で施錠されます。



自動開放



センサー

退室時

ドアを開けるときは、
再びセンサーに手を
かざしてください。
自動でドアが開きます。

くわしくは
こちらから



センサー

三和グループ

三和シャッター工業株式会社 026-243-8989



Rinnai

給湯システム「マイクロバブルバスユニット」



Micro Bubble Bath Unit

驚きの入浴体験を

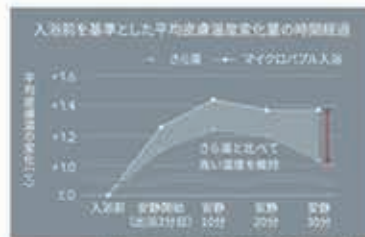
NEW

マイクロバブルが、バスタイムを変える



人気の白濁のお湯をご家庭に

業界最高水準の白いお湯を実現しました。従来製品に比べ、白濁度は2倍以上です。実際に体験された方からは、「さら湯よりも上質で、高級な印象を受ける」、「温泉に入っているようで、入浴自体が楽しい」といった声をいただいています。



優れた保温効果・保湿感について

全身を包み込む泡によって、お湯の熱が芯まで伝わり、湯あがり後の温かさを持続します。またマイクロバブルの微小な泡が皮膚表面の汚れをやさしく洗浄。さら湯のピリピリ感をなくし、なめらかな湯ざわりと肌のしっとり感を感じていただけます。



敏感肌の方・お子様にも安心

水と空気だけで生みだされる白濁したお湯は、肌への刺激が心配な方やお子様でも安心してお使いいただけます。マイクロバブルバスユニットによって入浴剤を使わなくとも入浴に、現在よりももっとやさしく、リラックスできる時間をもらえます。

給湯器の交換もしくは既存給湯器への後付けで、マイクロバブル入浴をお楽しみいただけます



表紙に戻る

東海道五十三次の内

石部屋～丸子宿まで歩く

「ホテル ルートイン清水インター」で6時前に目が覚め、NHKテレビの天気予報を見る。今日は2017年10月1日(日)、静岡市近辺は「晴れ時々曇り」で雨は降らない様で安心する。

雨具や帰りの荷物をバスの中に置いていく様に荷物をまとめ、歩く仕度をしてからホテル1階で朝食をとる。本日のルートインの朝食は6時15分からオープンになるが、土曜日から日曜日にかけて宿泊客が多く、満員の状態で席が空くのをレストラン外のロビーで待つ。

8時30分バスに集合し、バスで昨日歩き終わった安倍川の川会所跡近くの駐車場に向かう。歩く前に今日の工程と簡単な名所旧跡を聞く。本日の「旅人企画」のウォークリーダー（随行案内者）は昨日と同じ説明が上手な伊藤さん（男性）である。参加者も昨日と同じ65名プラス添乗員さん2名。参加者65名を3班の歩くグループに分け、準備運動をして、「弥勒」という所から出発する。

ライトグリーンに塗られた鉄骨製の安倍川大橋を渡る。今は何が釣れるのか、この川で釣り糸を下げている人を見る。安倍川は大きな川で、橋を渡り切るに時間がかかる。



安倍川大橋を渡る

江戸時代に川越人夫が人を運んだり、物を持って川を渡るには大変時間がかかったと想像する。足元が悪い川の中を、人や荷物を乗せて歩くのは大変な労働だと思ふ。
さわりこさすけ

安倍川大橋を渡り、「佐渡子授地蔵尊」で小休止、参拝や見学する。ウォークリーダーの話で『子供が授かりたい方は良くお参りしてください。孫でも宜しいですよ、この子授地蔵さんは願い事を良く聞いていただけますから』と。

まりこしゅく え どかた み つけあと
丸子宿江戸方見附跡に着き、丸子宿の事をウォークリーダー（随行案内者）より説明して頂く。

『丸子宿は長野県上田市の丸子の字と同じ字を書きますが、「マリコ」と読み、難しい蹴鞠の「マリ」の字を使い、「鞠子」



丸子宿 本陣跡の石碑

YUME 追い人

とも書きます。歌川（安藤）廣重が描いた東海道五十三次の初版には「丸子宿」と書かれており、難しい字の「鞠子」はその後に出てきます。

この丸子宿は東海道中で最も小さい宿場で、天保14年（1843年）の記録によりますと、町並みは東西7町で、本陣1軒、脇本陣2軒、旅籠24軒、家数211軒、住人男性366人、女性429人、合計795人いたようです。宿場町になったのは東海道伝馬制の制定により関ヶ原の戦いの翌年の慶長6年（1601年）です。品川宿から20番目の宿場町で、江戸日本橋より四十六里十一町（約181.8km）で、次の岡部宿まで二里（約7.9km）あります。』

この町中を歩いていると、江戸時代の名所旧跡の案内板はあるが、建物は無く、街道の町並みや個人の家が昔ながらの雰囲気醸し出している。その例として個人の家の前に「江戸時代の丸子宿」と書かれた木製の説明版や、格子窓に貼ってある「丸子宿の年表」、また「木製の屋号」が各戸の下屋に下げている。江戸時代の宿場町を住人がアピールしている姿勢が良く分る。丸子宿の間屋場跡の木製立て札、すぐ横に本陣跡の石碑、少し歩いて「お七里役所跡」の石碑がある。



お七里役所の石碑

お七里役所の事をウォークリーダー（随行案内者）に説明してもらう。

『お七里役所は、西国の大名が江戸屋敷と自国との連絡に直属の通信機関（七里飛脚）を持っていた。約七里（約28km）ごとの宿場中に継ぎ役所を置き、主役であるお七里役と五人一組の飛脚（お七里衆）を配置していました。この役所跡は紀州徳川家の



「名物 とろろ汁の丁子屋」
第14代丁子屋当主に手を振って送ってもらう



浮世絵に描かれている「名物茶屋」と似た様に作った店



もので、密書も運んだらうと思われ、剣術や弁舌にたけていた人が選ばれました。特徴のある半天を着て「七里飛脚」の看板をもち、刀と十手を持って、徳川御三家の威光



丸子宿 京方見付にある高札場跡

を示しながら運んだようです。毎月3回江戸まで行き、江戸からは毎月五の付く日に、紀州（和歌山）は十の付く日に出発した様です。普通便は8日間かかり、特急便は4日で着きました。江戸から紀州（和歌山）まで584kmあり、この間を4日で走ると言う事は1日137km走る事になり、今では考えられない事です』

お七里役所石碑を後にして京都に向かって歩く。昨日夕食をとった「名物 とうろ汁の丁子屋」の看板の前を通る。昨夜、廣重が描いた東海道五十三次の丸子宿にある丁子屋の説明をしてくれた第14代丁子屋当主が、六十余名いる「歩け、歩け」の我々をお見送りで手を振っている。こちらも手を振ってそれに答える。

歌川（安藤）廣重が描いた浮世絵の丸子宿の題名には「名物茶屋」と書いてある。その浮世絵の中に「名物 とうろ汁」「御茶漬」「酒さかな」という看板があり、とうろ汁を食べている人、食べて坂道を帰る人、赤子を背負った茶屋の女房が描かれている。

当時丸子宿には「とうろ汁」を提供する店が数多くあったらしく、ここにある丁子家は、昭和45年に第12代当主が、廣重が描いた建物と同じ様に店を作り、また廣重が描いた東海道五十三次の版画全宿場をそろえたと後で聞く。丸子宿高札場跡に着く。ここも高札場跡という石碑が立ててあるのみで、高札場らしき建物は無い。

丸子宿京方より西へ向かう。少し歩くと「起樹天満宮」という看板と石碑があり、トイレタイムのために天満宮の中に入る。「おきき」とは読めない難しい読み方の天満



起樹天満宮入口にある石碑

宮だ。

中に入ると石碑があり、何か書いてあるのか見ると、「日本近代茶業之先駆者多田元吉翁碑」と刻んである。この天満宮の続きの敷地に紅茶やお茶を売る店があり、この店の女性から「日本の近代紅茶の発祥の地」の説明をしていただく。紅茶もお茶も同じお茶の木から作られる。どちらも好きな飲み物で興味津々である。



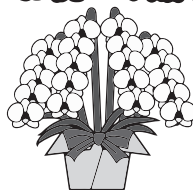
丸子紅茶の発祥の地、石碑や茶木が植えてある

『多田元吉翁は明治8年から明治10年にかけて、インド、中国を廻り、日本の地に合った茶苗を持ち込み、最高級の茶木を育成し、全国に広めました。茶の種類、茶木育成方法、品種改良、技術者の指導育成等、紅茶製造の技術を幅広く広げ、昭和28年に教えた技術者の杉村二久により、農林水産省で始まった品種登録制度の第1号にこの地で育てたお茶が登録されました。ここは「日本の近代紅茶の発祥の地」と言われております。石碑の横に多田翁の顔が刻まれた石碑があります。その下に紅茶の元になるお茶の木があり、「いずみ」「インド」「紅ほまれ」という紅茶の木が植えてあります。また、この畑の上に長源寺というお寺がありますが、その墓地内に多田翁のお墓があります』

ここが紅茶の発祥の地なのかと説明版を見て感心する。段々畑になっていて、日当たりが良い畑がたくさんある。家で妻と二人で飲んでみたかったので、この売店で「紅ほまれ」で作ったという紅茶を土産に買う。

次回（宇津ノ谷峠～岡部宿）につづく

お祝いや贈り物に花ギフトご注文承ります。



胡蝶蘭などご予算に応じて、ご用意いたします。また、配達も承っておりますので、ご用命ください。
(※小布施町内配達無料)

フローラルガーデンおぶせ

〒381-0209 上高井郡小布施町大字中松 506-1

TEL:026-247-5487 FAX:026-247-5488



あなたの“伝えたい”をお手伝い

自分史、旅行記、絵画集、写真集、詩集 etc...

お気軽にご相談ください。



企画・印刷 有限会社 長野プリントサービス

〒380-0836 長野市南県町1057-13 ☎(026)224-8469 FAX(026)224-8648
E-mail nps@janis.or.jp http://www.janis.or.jp/users/nps/

信州おぶせ 岩松院

〒381-0211 長野県上高井郡小布施町雁田
tel026-247-5504 fax026-247-6560



表紙に戻る

須古宇



「須高三会合同懇親会」の 開催中止について

◆題字「須古宇」には先輩の魂を引き継ぐという意味があります。

例年、(一社)長野県建築士事務所協会須高支部、長野県防災協会須高支部と合同で開催しております、三会合同懇親会ですが、本年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮いたしまして、中止といたします。

昨年より皆様にお会いする機会が減少しており、今年こそはと楽しみにしていたところ、中止となり申し訳ありません。何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、来年こそは開催する予定ですので、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

支部日誌

事務局

開催日	行 事 名	開催日	行 事 名
3月5日(金)	ながの支部ボウリング大会 (ヤングファラオ)	4月6日(火)	三役会 (web会議)
3月9日(火)	三役会 (web会議)	4月13日(火)	幹事会 (web会議)
3月12日(金)	応急危険度判定士「オクレンジャー」 登録説明会 (Zoom)	4月15日(木)	編集部会 (テレワーク活用)
3月19日(金)	北部ブロック幹事会 (中止)	4月22日(木)	支部諮問会議 (長野県建築士会館3階)

会員の動き

4月1日現在 373名

退会者 3月

北部B	佐藤 修明	増田 幸雄
	宮沢 良	
南部B	北村 宜洋	関森 宗路
	高山 耕	羽田 友宏
	丸山 吉道	山口 博子
	山田 和彦	
須高B	北沢 孝樹	玉井 一則
	戸松清一郎	平林 和子

移 動 4月

北部B	江口 大輝	飯水支部へ
-----	-------	-------

事務局だより

◇会費納入について

【郵便振替用紙で会費納入の会員様】

会費納入依頼書(請求書)・郵便振替用紙を今月下旬～6月上旬に送付致しますので、納入をお願い致します。

【6月預金口座引落の会員様】

6月2日に口座より引き落とされますのでご用意をお願い致します。

◇住所・勤務先等変更事項がありましたら、事務局へ ご連絡をお願い致します。

E-mail: jimukyoku@kenchikushikai.info

TEL: 026-225-9980 FAX: 026-225-9981

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染者数が長野県・全国でまた増えてきている。5日全国の3都府県で「まん延防止等重点措置」が適用された。昨年からずっとZOOMの会議で直接お会い出来ていない。4月の三役会・幹事会はリアル会議が出来るのかと楽しみにしていましたが、リモート会議になってしまいました。・・・暗い話題の中に明るい話題です。おとし2月に白血病と診断され入院生活を10か月して競技から離れていた池江璃花子さんが100メートルバタフライで優勝し、東京オリンピックのメドレーリレーに内定しました。インタビューに「つらくてもしんどくても、努力は必ず報われると感じた」と答える20歳に感動しました。

(H・N)



公益社団法人 長野県建築士会ながの支部

〒380-0813 長野市大字南長野南県町686-1 長野建設事務所建築課内
http://kenchikushikai.info/ TEL 026-225-9980
e-mail: jimukyoku@kenchikushikai.info FAX 026-225-9981

